

# ありがとう

## 【教育目標】

○自分の可能性に挑戦し  
人のために動ける児童の育成

## 【合い言葉】

○「ありがとう」でつながる大畑小

発行 大畑小校長 森下秀一

## 運動場で走り回る子どもたち

今年は例年よりも寒い日が多いような気がします。

でも、**子どもたちはとても元気です**。昼休みになると、サッカーをしたり、鬼ごっこをしたりする子どもたちで、運動場はとても賑やかです。

最近、1年生に誘われて、私も運動場でサッカーをする機会が増えました。私の場合、時間が経つにつれて息が上がって動けなくなるのですが、**子どもたちは最初から最後までパワー全開で走り続けています**。

コロナ禍で、子どもたちもいろいろな制約を受けながら生活しています。きっと私たち以上にストレスを感じているのだと思います。しかし、**今も昔も子どもは遊びの天才です**。短い時間でもそれぞれが楽しいことを見つけて、活動しています。

子どもたちにとって、もっと普通に楽しいことに取り組めるように、新型コロナウイルス感染症が落ち着くことを願うばかりです。



## 始まった新しい教育 — キャリア教育 —

休み時間や掃除の時間に、近くにいた子どもたちに、将来何になりたいか尋ねてみました。私が思っていた以上に、子どもたちは自分の夢についてしっかり話してくれました。

「教師になりたい」、「カウンセラーになりたい」、「野球選手になりたい」…具体的な夢をたくさんの子が答えてくれたので、頼もしく感じました。

今、子どもたちには、将来、社会的・職業的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現するための力が求められています。

その力を育成するための教育が、「**キャリア教育**」です。

難しい話になりますが、「**キャリア教育**」とは**就業体験や進路指導ではなく、児童・生徒自身のキャリアを形成するために必要となる様々な汎用的能力を育てていく教育**です。

もう少し詳しく言うと、汎用的能力とは、「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」の4つの能力のことです。

そして、キャリア教育は学校の教育活動の全体を通して行うべきものだという考えから、**キャリア・パスポート**が導入されました。でも、キャリア・パスポートに記録していく活動は、学習指導要領に示してある特別活動が中心になります。

**キャリア・パスポートは小学校から高等学校にかけて、記録が引き継がれます**。

これからは新学習指導要領に基づき、小・中・高と一貫した利用が求められるのです。

これにより、児童・生徒の進学先にかかわらず、教育機関を超えてキャリア教育を継続することが可能になりました。



# 学校教育目標に迫るキャリア教育の実践

本校の教育目標は「自分の可能性に挑戦し、人のために動ける児童の育成」です。私たちは、**教育の質の向上をめざして、日々研究をしたり、研修を受けたりしています。**また、**互いの教育実践も参考にして、自らの実践を高める努力をしています。**手前味噌になりますが、最近本校職員の教育実践に感心することが多くなりました。本日は、本校教育目標に迫る「上教諭の実践を学級通信をもとに紹介いたします。

## 掃除指導 「どうして働かなくてはいけないの??」

今週は子どもたちに掃除の指導をすることが多かった一週間でした。誰か大人がついていないとなかなか一生懸命掃除ができませんでした。

掃除について子どもたちに考えさせるため、「どうして大人になったら働かなくてはいけないのかな。」と子どもたちに聞きました。

すると、「お金をもらうためです。」「ぼくたちにご飯を食べさせるためです。」「お金がないとおなかが減って死んでしまうからです。」と全員が意見を述べました。

2年生段階だと「働く＝お金のため」と考えるようです。「たしかにお金のために働くよねえ。でもみんなのおうちの方々はお金のためだけに働いているわけではないと思うんだよねえ。」と話しました。

子どもたちは「?」となり、また考えます。

「人の役に立つためですか??」と気付いた子がいました。「働く＝人の役に立つため」という考え方が生まれました。

「みんなも人の役に立つために働いたことがあるんだよ。」と話すと、「ゴミ拾いだ!」「朝のボランティアも!」と今までの行動がつながり始めました。

「そして掃除時間もお金のためではなく人の役に立つためにあるんだよね。みんなが大きくなって、全員がお金のためだけに働いていたら寂しくない?」と尋ねると、「たしかに〜。」とうなずき始めました。

その後の掃除時間は素晴らしい働き方でした!



この二人はトイレ掃除です。まどやドアをきれいに拭いていました。二人とも黙々と真剣に働いていました!

しっかりとほうきで汚れをかき出していました! 物も片付け、すっきりしたベランダになりました。

三人は教室掃除。全ての物を後ろに下げ、広々とした教室を一気に拭き上げていました!

少し話せば納得し、がんばる2年生。**素直な心と姿が素敵でした!**

**「自分は何のためにこれをやっているのか」ということを理解して「見通し」を持つことで、子どもたちは自ら行動を始めます。**

この実践では、教師と子どもたちの対話を通して、掃除をすることの意味を子どもたちが発見しています。そして、自分のできることに取り組み始めたのです。

これからも、私たちは大畑小の子どもたちを伸ばすために精進してまいります。